

健全なスポーツビジネス育成



不正商品対策協議会 代表幹事 角川 歴彦氏

主催者あいさし

不正商品対策協議会は、知的財産の保護と不正商品の排除に寄与することを目的に、一九八六年八月に設立されました。当時の日本は、この分野で世界にあまり誇れる存在ではなかったと率直に申し上げなければなりません。街中には不正商品である海賊版と模倣品があふれていました。

以て二十年、共通の立場にある七団体が一致団結して、警察庁の支援のもと、地道な努力を重ねてきたのです。現在我が国は、国家戦略の一つに知的財産の強化を謳(うた)い、さまざまな施策を推進しています。この知的財産政策は、昨年第二期の三年間がスタートし、その目標として「世界最高水準の知的財産立国を目指す」を掲げ、従

知的財産保護は国家戦略 不正商品の排除にも尽力

来戦略化された各産業界を具現化し実効を上げていくものとしていきます。グローバル化・ネットワーキ化の急激な進展に伴い、多くの新たな問題に我々は直面しています。トオークションなどを介して日本国内に流入している。昨年開催したシンポジウムで基調講演をお願いした米国映画協会(MPAA)代表兼COOロバート・ピサノ氏は、日本でも米国と同様に映画館における映画の盗撮行為を禁止する法律制定の必要性を強く訴えられました。不正商品対策協議会では、組織犯罪として世界的な映像の侵略行為に

あいさし



警察庁 生活安全局長 片桐 裕氏

我が国における知的財産権侵害事犯の最近の状況をみると、依然右肩上がりで増加傾向を示しており、警察では昨年、四百九十三事件、七百八十三人を検挙しましたが、事件数は過去

ネットワーキ利用による犯罪がかなり増えおおり、その手口もなりすまし行為や国外サイトを經由するなど匿名性が高く、巧妙化してきています。加えてこの背景には、不正商品を安易に

購入する国民の意識自体にも問題があります。警察では不正商品対策として、国内においてはインターネット利用事犯の取り締まりのほか、水際対策と

昨年の事件数は過去最多 権利者と緊密な連携重視

緊密な連携です。従来、不正商品対策協議会と策協議会の効果的な連携により事件検挙に多大な成果を上げてきましたが、今後とも連携をさらに強化し、不正商品の撲滅に向けて、実効のある取り組み、広報啓発活動に取り組みしていく所存です。

キーノートスピーチ

フェアプレーと柔道の心

知的財産権の保護と柔道の精神や心には相通するところがあ、知的財産権の基本であるルールを守ることはフェアプレーの精神ともつながっています。現在、柔道は国際柔道連盟に百九十五の国・地域が加盟しているオリンピック

スポーツですが、最初にオリンピック種目に採用されたのは一九六四年の東京オリンピックでした。この大会の柔道無差別級決勝で、日本の神永選手はオランダのヘーシンク選手に敗れてしまつたのですが、試合後に衝撃的なシーンがありました。祝福のため畳に上がった。祝福のため畳に上がってこようとしたオランダの役員をヘーシンク選手が両手で押しとどめたのです。実はこの三年前にパリで行

柔道の教育的価値を普及 ルールを守る大切さ基本

われた世界選手権大会で、ヘーシンク選手が日本選手に勝って優勝した際、オランダの応援団が畳に上がり大混乱になったことがありました。勝った後の私の最初の務めは戦った神永選手に敬意を表することです。その前に自分の喜びを表すことは柔道では許されません。そのためには畳に上がってこ



国際柔道連盟 教育コーチング理事 山下 泰裕氏

大学時代にこのシーンを見た私は、ヘーシンク氏に当時の心境を尋ねたところ、彼は「確かに試合で私は勝ちました。しかし、ヘーシンク選手の体力に技

知的財産戦略の新しい課題

スポーツビジネスを考える 拡大する不正商品対策

不正商品対策協議会(ACA)と日本経済新聞社は三月十六日(金)、東京・日経ホールにて「アジア知的財産権シンポジウム2007」を開催した。後援は知的財産戦略本部、警察庁、総務省、外務省、財務省、経済産業省。九回目を迎える今回のメインテーマは「知的財産戦略の新しい課題」スポーツビジネスを考える。拡大する不正商品対策」で、スポーツ権、マーチャライジング権、呼称、シンボルマーク、マスコットの使用ほか、スポーツビジネスを取り巻く知的財産権保護について活発な議論が展開された。

シウム2007では、従来のシンポジウムとは異なる、スポーツビジネスと知的財産権との問題について考察します。来年の北京オリンピック開催、今年八月に大阪で開催されるIAAF世界陸上競技選手権など、今やスポーツは国家的なイベントとなり、膨大なビジネスチャンスとなっています。それとともに、スポーツに関連した知的財産権侵害の問題が起きています。不正商品対策協議会は今後とも、知的財産の保護と不正商品の排除に寄与することを目的に一層の努力を重ねていく所存です。

アジア知的財産権 シンポジウム2007 広告特集